



11月の予定

〈公〉中央公民館 〈農〉農業者トレーニングセンター
〈町〉町民会館 〈さ〉さんさん館 〈健〉健診ホール
〈温〉温水プール 〈ふ〉ふれあい公園PG場

- 3日(日) [休日当番病院] 美幌 田中医院 ☎73-2913
津別町功労者表彰式〈公〉
- 4日(月) [休日当番病院] 津別病院 ☎76-2121
- 10日(日) [休日当番病院] 美幌町立国保病院 ☎73-4111
- 13日(水) 加賀谷木材創業100周年池上彰氏記念講演会〈公〉
- 16日(土) 第7回つべつウッドロスマルシェ 午前9時～正午
〈津別町木質バイオマスセンター〉
- 17日(日) [休日当番病院] 女満別中央病院 ☎74-2181
- 23日(土) [休日当番病院] 美幌 みやざわクリニック ☎75-0800
- 24日(日) [休日当番病院] 美幌 こばやし内科クリニック ☎73-3356
- 27日(水) 農業青色申告決算説明会 午後1時30分～〈2階大会議室〉

人の動き

令和6年9月末現在

() は前月比

人口 4,017人(+2) 世帯 2,159戸(+2)
 男性 1,983人(+2) 女性 2,034人(±0)
 高齢化率 45.38% 1,823人

メール配信システム「ささえねっと@つべつ」への登録をお願いします！

町の防災情報など大切な情報をお届けしています。

※詳細は、町ホームページをご覧ください。

メールの登録方法

①QRコードから登録



②t-tsubetsu@sg-p.jp(メールアドレス)を入力し、空メールを送り登録

LINEの登録方法

QRコードから登録



【215】全国まちづくり交流会
 9月27日から29日にかけて、第20回全国まちづくり交流会が、津別町で開催された。この交流会には24都道府県から150名ほどのちよつと変わり者の人たちが集まり、遠くは与論島からもおいでいただいた。

第1回は平成15年に愛知県足助町(現豊田市)で開催され、コロナ禍で中断した年もあったが、今回最終回として津別町での開催となった。受入れは、実行委員長の篠原眞稚子町議や私も会員である、管内のまちおこしグループ「オホーツク寒気団」が中心となり準備を進めた。これに津別町はヒト・モノ・カネの支援を行った。オホーツク寒気団は過去に、阪神淡路大震災で被災した子供たちのホームステイの受け入れや、車いすでオホーツクを旅する人たちのために『車いすガイドマップ』を発刊するなど活動を行ってきた。

28日の大交流会では、津別町から3氏が事例発表を行った。

Uターン者の山上裕一朗氏から「津別から世界へ山上木工のチャレンジ」、Uターン者の上野真司氏から「潜在資源で観光振興森のこだまの取り組み」、同じくUターン者の都丸雅子さんから「旅人と地域を繋ぐ交流拠点」と題して発表された。3人の語りは素晴らしく、じっくり聞き入ってしまった。この事例発表を聞いた町民の方から「いやー良かった」と声をかけられた。夜の交流会では、全国からの参加者からも多くの賛辞をいただいた。「津別って前を向いている人がいっぱいいる」「引き抜きたい方がいいか」「こんな人たちをどうやって集めた」などと話しかけられ、誇らしく思えた。

今回の交流会をもって最終回となることを、参加者の皆さんは大変残念がっていた。またどこかで何かの形でつながりたいという思いが伝わってきた。町外、特に道外から参加された方は、北海道という言葉を聞いたときに、きつと津別町を思い出すと嬉しい。

たてよこプラス



町長 佐藤多一